

その他(3)

本県の学校教育の現状について

このことについて、別紙のとおり報告する。

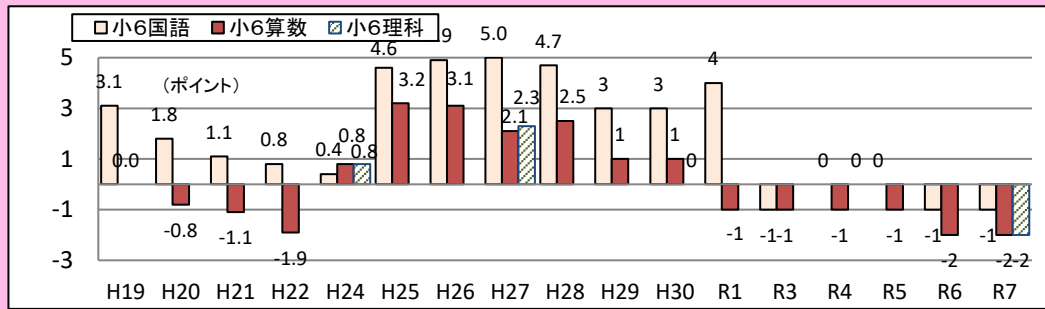
令和8年6月30日  
新潟県教育委員会教育長  
太田 勇二

# 新潟県学校教育の現状 (小・中学校)

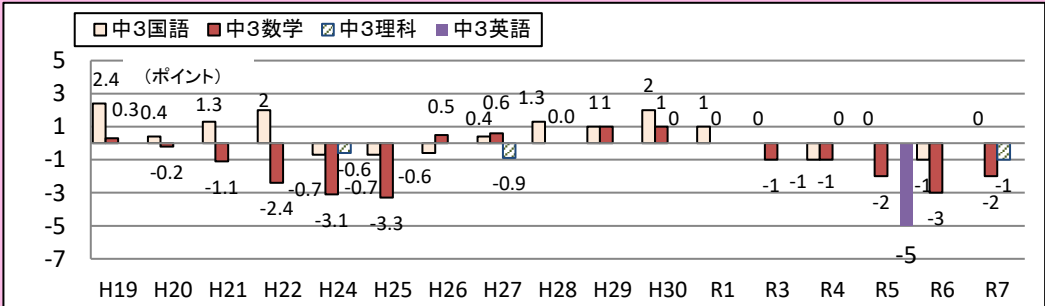
1 R7年度全国学力・学習状況調査では、平均正答率において中学校国語で全国と同程度、小・中学校のその他の教科で全国を下回っています。児童生徒が「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できる授業に向けて指導や課題の工夫を行い、ICTの効果的な利活用を図るとともに、「にいがた学びチャレンジ※」を活用して対話のある学びを充実させ、確かな学力の育成を目指します。

※ にいがた学びチャレンジ…対話のある学びの実現・充実のため、小学校4～6年生(国・算)、中学校1～3年生(国・数・英)を対象にした教材を年間4回配信し、各学校が授業の中で活用するもの。 ※以下(1)(2)とも平成23年度及び令和2年度は未実施 平成29年度の調査から結果を整数値で発表

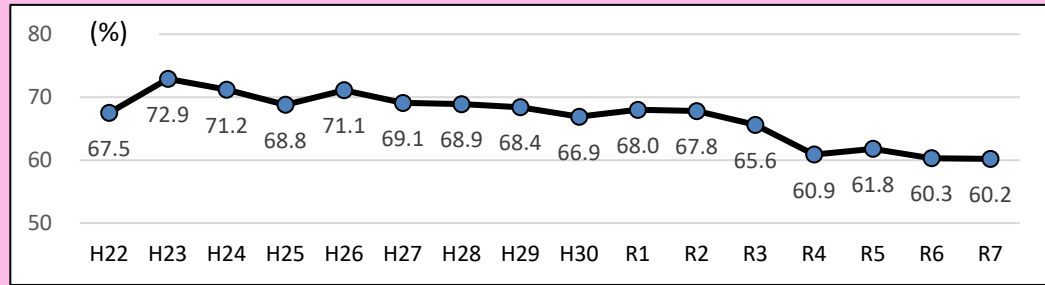
## (1) 小学校6年生「全国学力・学習状況調査」(全国平均正答率との差)



## (2) 中学校3年生「全国学力・学習状況調査」(全国平均正答率との差) ※R7の理科は、結果算出方法が変更になったため、正答率を基に換算した結果を掲載



2 「将来就きたい仕事のイメージをもっている中学生」の割合が70%を下回っています。アントレプレナーシップ教育や、職場体験学習などのキャリア教育の推進を通して、自分の将来を設計する力を育むよう、支援を充実していきます。

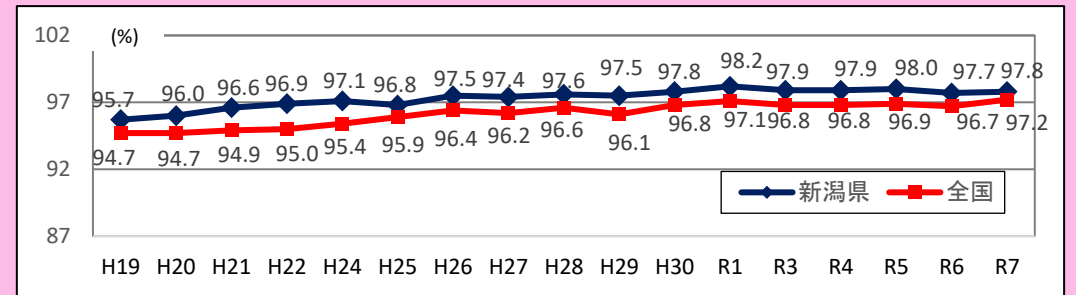


「中学校等卒業後の進路に関する調査」(中学校2年生)

3 「いじめをしない、見逃さない、許さない」意識を醸成するとともに、道徳教育・特別活動・人権教育、同和教育の充実を図ります。

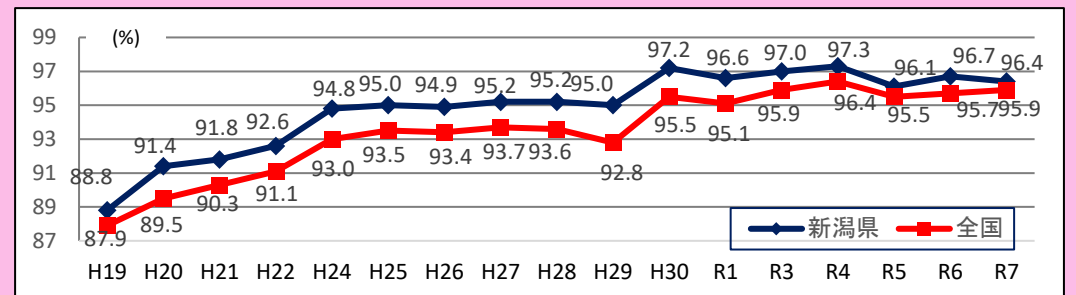
※以下(1)(2)とも平成23年度及び令和2年度は未実施

## (1) 小学校6年生「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」



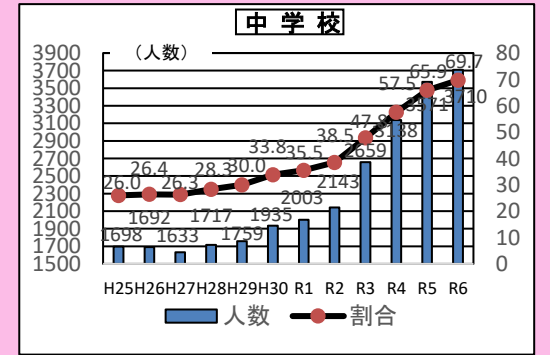
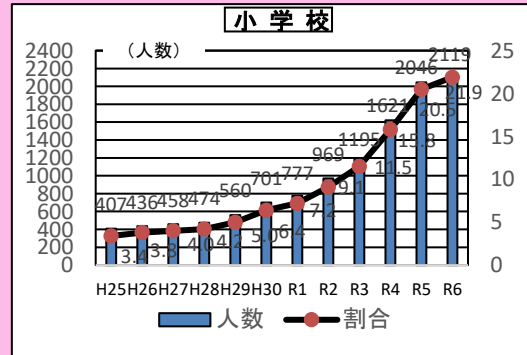
小6「全国学力・学習状況調査質問紙」全国との差 (年次推移)

## (2) 中学校3年生「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」



中3「全国学力・学習状況調査質問紙」全国との差 (年次推移)

4 小・中学校の不登校児童生徒数及び1,000人あたりの不登校児童生徒数は、いずれも増加傾向にあります。教育相談体制の充実や関係機関等との連携の強化を図るとともに、新たな不登校を生まない学校づくりを進めていきます。

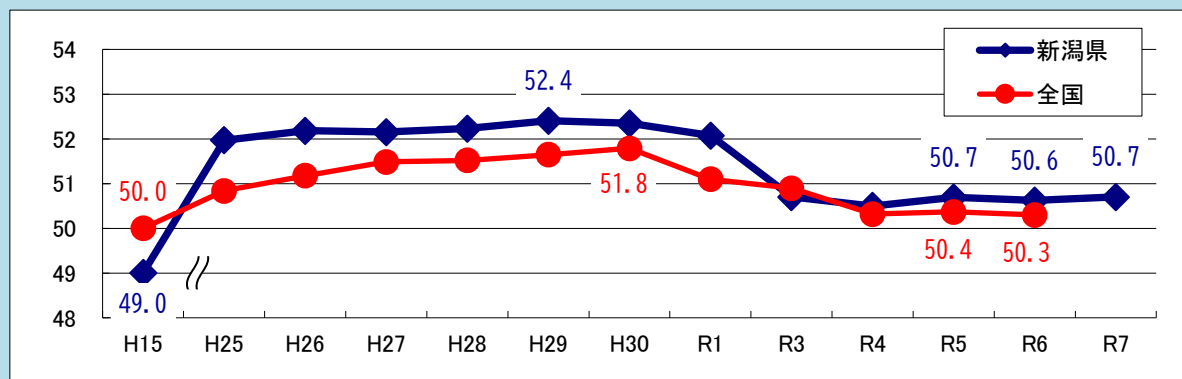


小・中学校不登校児童生徒数と1,000人あたりの不登校児童生徒数 (国公私立)

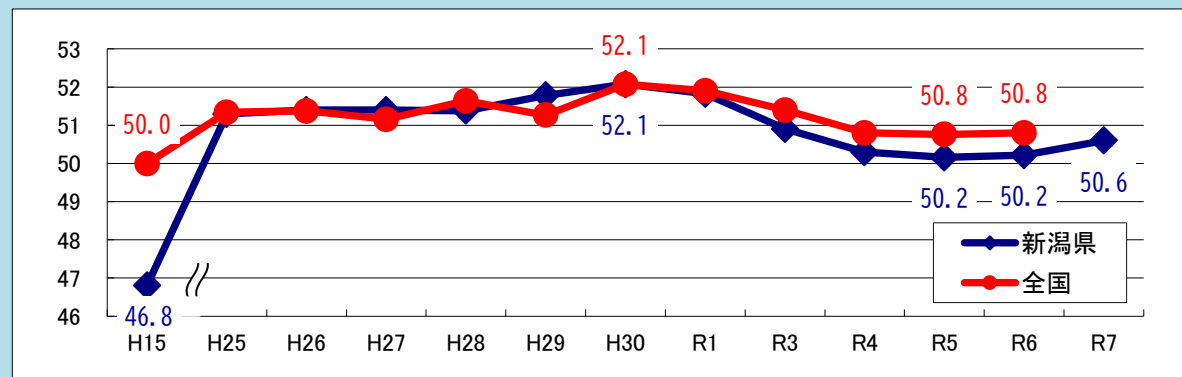
# 新潟県学校教育の現状（保健体育）

1 児童生徒の体力については、新型コロナウイルス感染症の流行による様々な行動制限の影響により低下して以降、小学生・高校生は横ばいで推移し、中学生はやや回復傾向にあります。

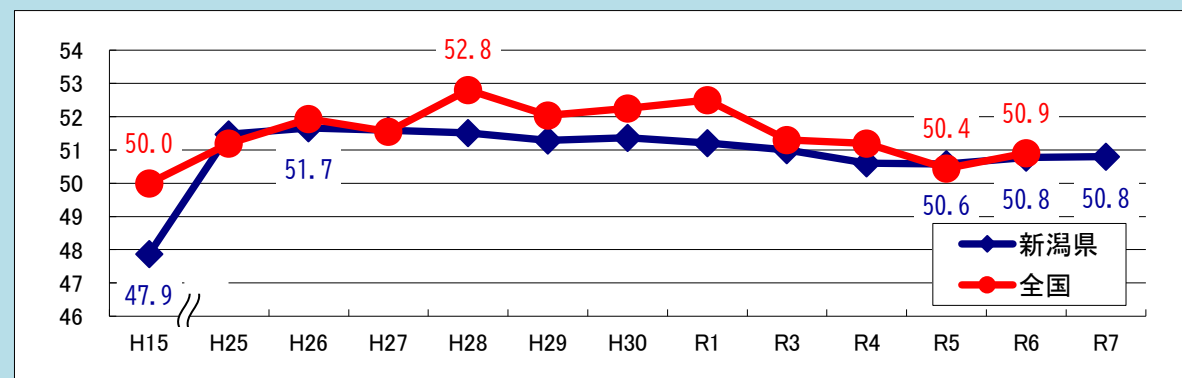
(1) 小学生（3～6年）



(2) 中学生（1～3年）



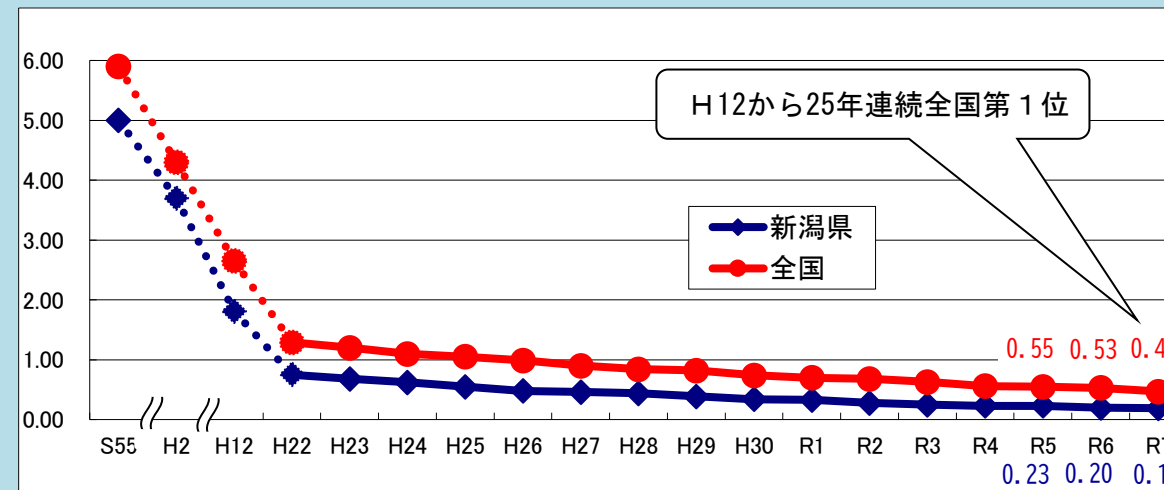
(3) 高校生（1～3年）



(1)～(3) 平成15年度の全国平均値(50:抽出)と比較した本県平均値(全数)の年次推移  
 ※ R2年度調査は中止、R7年度全国値は未発表

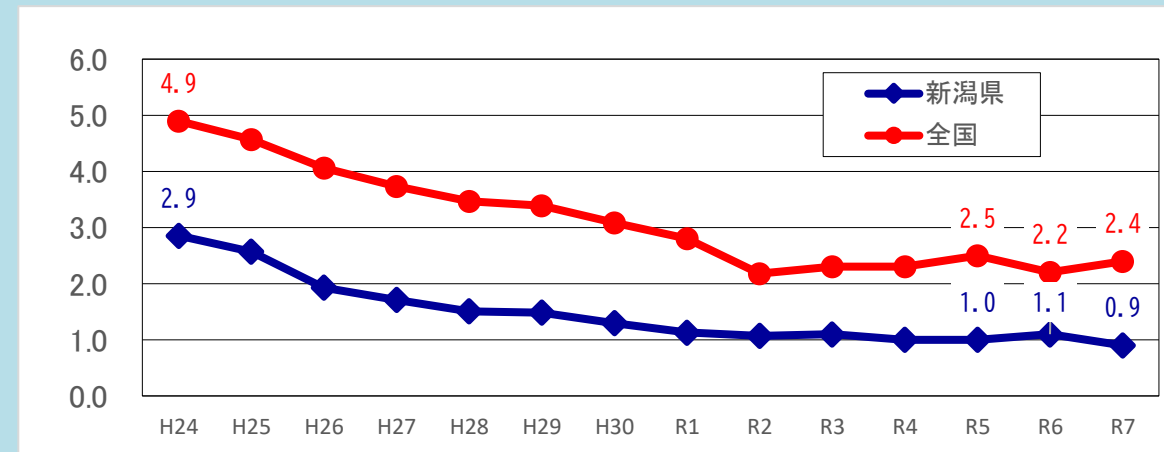
「1学校1取組（学校における体育・健康に関する指導実践）」の優良な取組をまとめた事例集の配付、教職員を対象とした中央研修の伝達講習の実施、県指導主事の学校訪問による授業改善支援など、体力向上に向けた取組を充実させていきます。

2 子どもたちのむし歯の少なさは全国トップを維持しています。



新潟県12歳児の1人平均むし歯数の推移

3 本県児童生徒の交通事故死傷者数は低い水準にあります。

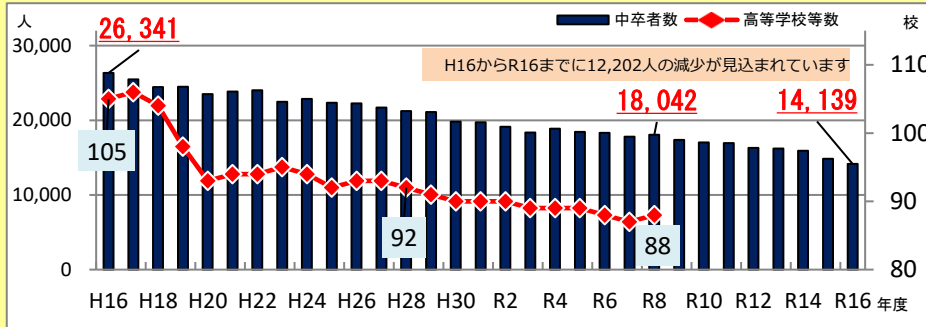


児童・生徒1,000人あたりの死傷者数の推移(警察統計)

令和7年の本県児童生徒の交通事故死者数は2名でした。

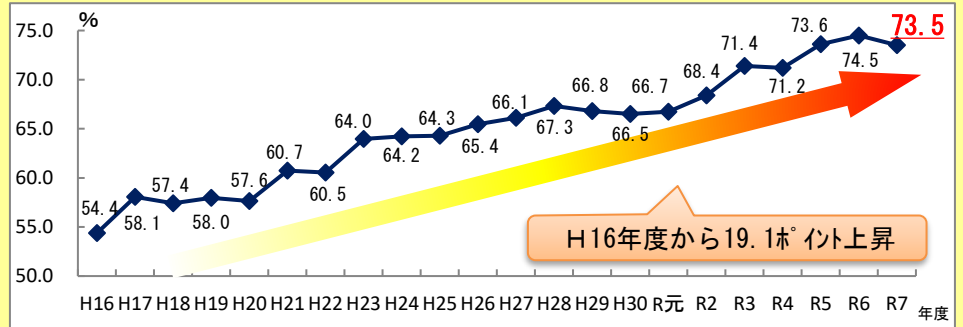
# 新潟県学校教育の現状（高等学校等）

## 1 中学校卒業生数は減少傾向が続いています。



※ 「学校基本調査」及びR7年高等学校教育課調査をもとに作成  
 ※ 中卒者数はR8以降は見込、学校数は県立高校の本校・分校及び県立中等教育学校のみ

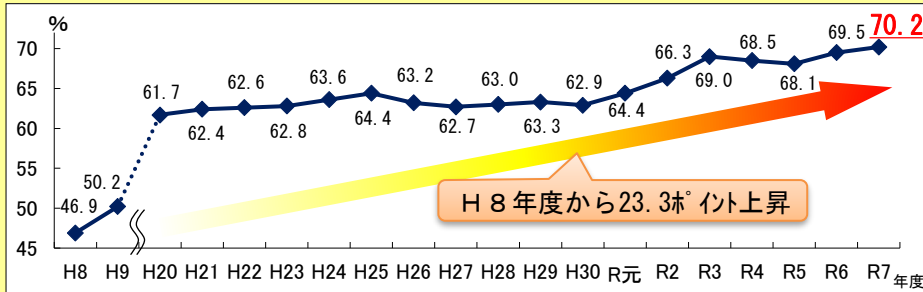
## (3) 学校が進路実現に「役立つ」「ある程度役立つ」と答えた生徒



※ 全日制・定時制2年生及び中等教育学校5年生

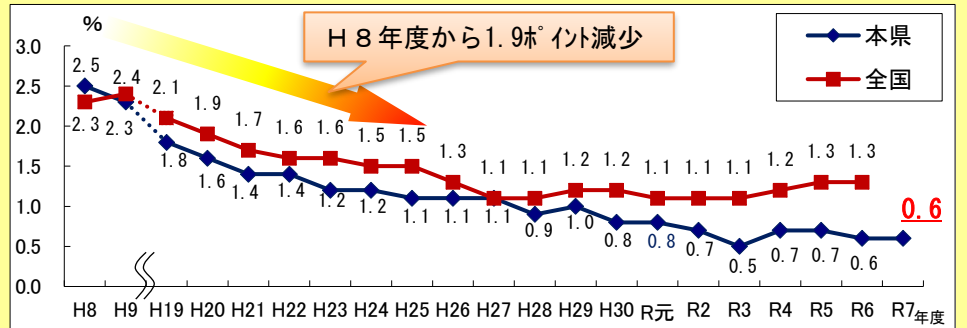
## 2 高校生活の満足度は高いレベルで推移しています。

### (1) 「入学した学校が入りたい学校であった」と答えた生徒（全日制1年生）



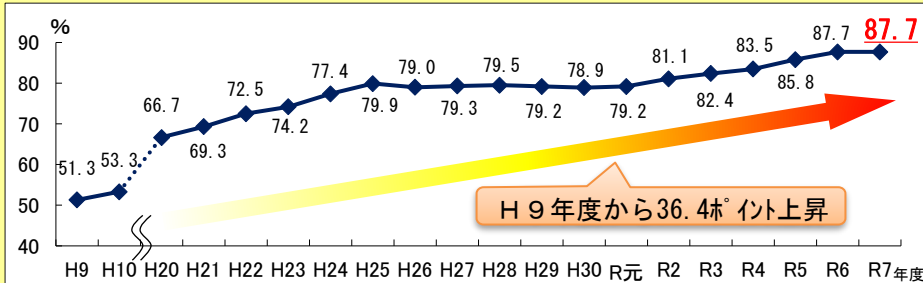
※ H28年度までは新潟市立高校を含む。

## 3 高等学校中途退学率は全国より低い水準が続いています。



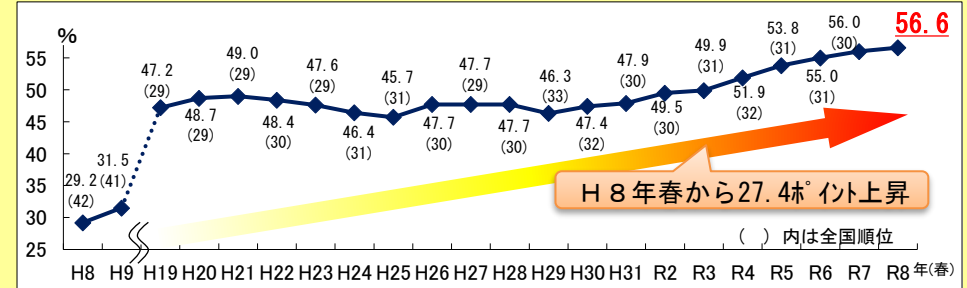
※ 本県：公立(全・定) 全国：H24年度までは公立(全・定)、H25年度以降は国公私立(全・定)

### (2) 高校生活に「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた生徒（全日制2年生）



※ H28年度までは新潟市立高校を含む。

## 4 約半数の生徒が大学等へ進学しています。（大学等進学率）



※ H19年度以前は県内の高等学校、H20年度以降は県内の高等学校及び中等教育学校を卒業した者。R8年春は高等学校教育課調査 ( )内は全国順位